

未来へつなごう私たちの宝 福津市に世界遺産を! vol.8

平成29年の 世界遺産候補に 決定!



福津市の勝浦・奴山に広がる「新原・奴山古墳群」と玄界灘に浮かぶ「沖ノ島」と「宗像大社」を含む「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」が2017年の世界文化遺産候補に決定しました。

平成27年7月28日、福津市文化会館に集まった約90人の市民は、国の文化審議会で4つの候補地から「沖ノ島」が選ばれた一報を受け万歳をして喜びの声をあげました。県庁では登録活動を行っている「宗像・沖ノ島と関連遺産群 世界遺産推進会議」の会長でもある小川県知事と副会長の小山福津市長、谷井宗像市長の3人による記者会見が行われ、登録へ大きな段階に入った喜びと、登録へ向けての意気込みについて熱く語りました。

福津市では福岡県・宗像市と共にこれまで以上に世界遺産についてのPR活動と資産の保護体制の充実を図り、来年夏の世界遺産登録を目指します。



小山福津市長、小川県知事、谷井宗像市長の記者会見

■今後の予定

ユネスコの諮問機関
(イコモス)による
審査



今秋
イコモスの調査員による
現地調査



平成29年春
イコモスによる
審査結果が発表



平成29年6月開催予定
ユネスコ世界遺産委員会で
登録の可否が決定

今後はイコモスの現地調査に備えて万全の体制でのぞみ、来年の登録へつなぎます。

■文化庁長官の講演が開催されました

シンポジウム「沖ノ島、その価値を未来へ伝えていくために」が5月16日、福津市のカメラアホールで開催されました。前半は青柳文化庁長官と、世界遺産を審査するユネスコの諮問機関「国際記念物遺跡会議(イコモス)」の日本イコモス国内委員会の西村委員長による遺跡や景観をキーワードとする講演が行われました。青柳長官は世界遺産登録には地元住民の協力と盛り上がりの重要性について、西村委員長からは、世界遺産が地元の誇りにつながる街づくりのきっかけになればいいと語られました。後半は世界遺産に関わっている地元のボランティアを交えたパネルディスカッションが行われ、各々のボランティアから世界遺産との関わりについての意見が披露されました。



■世界遺産集会在開催されました

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群に含まれる福津市勝浦の新原・奴山古墳群をより多くの人に知ってもらおう集会在6月27日、イオンモール福津で開催されました。

新原・奴山古墳群の価値についての講演と、新原・奴山古墳群を舞台にした創作劇の上演が行われ、約100人の買い物客が参加して楽しみました。



／お／し／ら／せ／

■新原・奴山古墳群をガイドの説明で見学しませんか

福津市では12月から毎週日曜日、新原・奴山古墳群と生産者直売所のあんずの里市、津屋崎千軒の町並みを観光協会のボランティアガイドの案内で巡るバスツアーを実施しています。出発日は3月6日、13日、20日、27日で、いずれも朝9時45分福間駅集合・13時30分福間駅着の予定です。料金は2,480円(小学生は1,480円)。バス代、弁当代込みです。

福津市観光協会 電話0940-42-9988まで電話でお申し込み下さい。



古墳の説明を行うボランティアガイド